

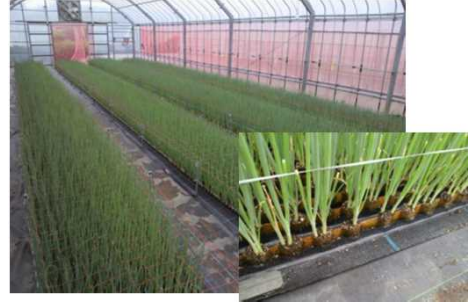
新開発！ベルトプランター大苗育苗技術

【研究のポイント】

根深ネギ栽培では、移植機で省力的に定植が可能な育苗トレイによる育苗が広く行われています。しかし、小苗であるため定植初期の生育が不安定、収穫までの期間が長いといった問題点があります。そこで、小苗を長さ約14m、幅約4cmの細長い育苗容器「ベルトプランター」に仮植し二次育苗することで、既存の移植機で定植が可能な大苗に育苗する技術を開発しました。



ベルトプランター
(上部を開いて一定の間隔で小苗を入れる)



ベルトプランターでの大苗育苗状況
(1列14mで苗が連なる)

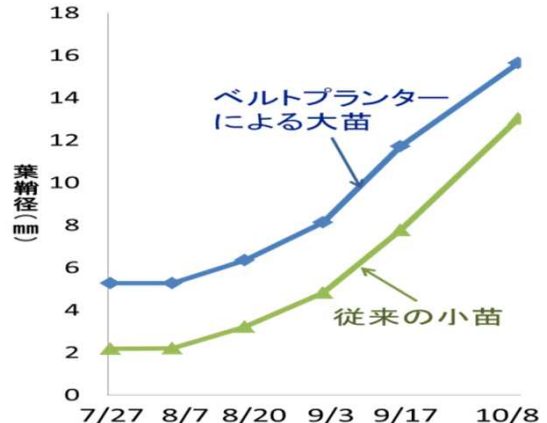
【研究の成果】

＜ベルトプランター大苗育苗技術＞

- ①ベルトプランターで育苗することで、既存の移植機で定植できる大苗（従来の約2倍の太さ）を育苗することができました。
- ②従来の小苗に比べて、植えてから収穫までの期間が短くなりました。
- ③雑草害や定植初期の高温、水不足への強さが認められました。



従来の小苗とベルトプランターによる大苗



定植後の葉鞘径(ネギの太さ)の推移
(定植日:平成27年7月24日)

＜生産現場への普及＞

県内各産地で実証試験を実施中です。

【生産者の声】

収穫期の前倒しと生産安定を目的に実証試験に取り組んでいます。成果に期待しています。
(イオンアグリ創造株式会社 大分九重農場 佐藤農場長)



【連絡先】

担当:農林水産研究指導センター 農業研究部 葉根菜類・茶業チーム
TEL:0974-28-2082
住所:大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8